

体験型イベント

狂言で笑おう!

“生きる”を楽しむ

伝統芸能『狂言』を見て、声を出して、所作をまねる。
子どもから高齢者まで、はじめての方も楽しめる狂言教室です。

笑うことから、地域はつながる。

ご家族でも、お一人でも。どなたでもご参加いただけます。

令和8年 9月21日(月・祝)

14:00~15:30 (開場 13:30)

川崎市平和館 屋内広場

参加費無料

事前申込制※



<https://teket.jp/10991/74818>



出演・講師

狂言師 / 和泉流筆頭職分家当主
十世三宅藤九郎先生
和泉流宗家一門 他

当日の内容 狂言の解説 狂言上演 体験ワークショップ
(予定) トーク・交流タイムなど



会場へのアクセス

川崎市中原区木月住吉町 33-1

●電車

JR 南武線・横須賀線
「武蔵小杉駅」から徒歩約 10 分
東急東横線「武蔵小杉駅」
「元住吉駅」から徒歩約 10 分

●バス (いずれも「東住吉小学校」下車)

川崎市営バス 小杉駅東口 または 横須賀線小杉駅より
「杉 01」中央療育センター前行 (小杉駅東口のみ)
「杉 02」井田病院行
「杉 03」蟹ヶ谷 井田営業所前行
「杉 04」新城駅前行

臨港バス 小杉駅東口 または 横須賀線小杉駅より
「川 55」西加瀬・小倉下町・江ヶ崎経由 川崎駅西口行

臨港バス 川崎駅西口より
「川 55」小倉下町経由 横須賀線小杉駅行

子どもから高齢者まで、世代を超えて一緒に笑い、楽しむ一日。

十世三宅藤九郎（狂言師／和泉流筆頭職分家当主）



舞台経歴

3歳で初舞台（1975年）、今年で舞台50周年を迎える。
1989年に十世三宅藤九郎を襲名（国立能楽堂にて披露公演、文部大臣感謝状授与）
師匠は実父である和泉元秀（和泉流十九世宗家・重要無形文化財）、祖父は人間国宝九世三宅藤九郎。弟の和泉元彌（二十世宗家）、姉の和泉淳子（史上初の女性狂言師）とともに国内外で公演するかたわら、堪能な語学力で近年は米国ノースダコタ州立大学客員アーティストとして狂言指導。2014～2019年の間に内閣府の対米広報特使として3度の渡米、10州15都市を訪問し、日本の伝統芸能を広く海外に紹介するなど国際的に活動。また狂言を通じて小中学生の「こころを楽しく育てる」活動にも取り組んでいる。

貢献・教育活動

認知症対応施設での定期「狂言教室」を2010年より継続
介護現場に「狂言」の“笑い”と口伝を取り入れ、高齢者の心身機能向上に貢献
石川県能登半島地震地域コミュニティ再建事業として、狂言ワークショップによる被災者の心のケアと災害復興支援を行う

著書：『女性狂言師でござる』（廣済堂出版、1999年）
講義：青山学院大学、お茶の水女子大学、神奈川大学等
小中学校での狂言授業はのべ100校以上に及ぶ

「狂言教室 × バナナ園グループ」の取り組み



バナナ園グループ（川崎・横浜で地域密着型介護ホームを展開）では、入居者さまの心身の健康を支えるチームケアの一環として、運動療法や音楽療法とともに、2010年から事業所にて「狂言教室」を続けています。

“笑いのこころ”を届ける

狂言の鑑賞や、笑いとりズムに満ちた表現を通して、普段の暮らしでは味わえない特別な時間と、心が自然にほぐれるひとときを届けています。

“口伝”がもたらす変化

藤九郎先生の実演を見てまね、節や台詞を繰り返す「口伝」のお稽古。声を出し、姿勢を整えながら覚えることで、記憶や集中力を活性化します。

継続的な効果

合計8回のお稽古を通して、一曲の狂言小謡をうたえるよう取り組みます。回を重ねる中で覚えた節を口ずさむなど、楽しみながら参加される姿が見られます。

申し込み方法



オンライン申込： 右側のQRコードもしくはメールにてお申し込みください。
mail: event@bananaen.com



電話申込・お問合せ：044-455-6119

受付時間：[月～金（祝日除く）] 9時～17時



<https://teket.jp/10991/74818>